

Joint Education Program (JEP) 実績報告書「スタディーツアー」

所属 世界言語社会教育センター

名前 ファリダ・モハメッド

- ・授業題目名：スタディーツアー
- ・授業形態：対面
- ・開催場所：マレーシア
- ・期間：2023年2月21日～2023年3月16日
- ・参加者数：7名

1. 授業の概要

マレーシアの裕福な家庭および中間層の家庭、計3～4家族の家庭に滞在する。現地の学校や大学で日本語をマレー語で教える。都市、郊外、山間部、島を含む、マレーシアのいくつかの州を訪れる。学生は1つテーマを決め、研究を行う。

2. 実施報告（日程、実施内容、開催時の写真）

※写真はできる限り付けてください。

- 2/21 クアラルンプール国際空港経由でペナン島州ペナン国際空港まで移動。
- 2/22 ホストファミリーとの自由行動。
- 2/23 午前はマラ工科大学で日本語・日本文化を教える。午後はホストファミリーとの自由行動。
- 2/24-25 ホストファミリーとの自由行動。
- 2/26 ホストファミリー家族の結婚式に参加。ホストファミリーの車でペラ州イポーへ移動。
- 2/27 ヌルハディア国民宗教中高等学校を訪問し、日本語・日本文化を教える。
- 2/28-3/2 ホストファミリーとの自由行動。
- 3/3 クアラルンプールへバスで移動。チュラス特別教員養成機関を訪問し、文化交流を行う。
- 3/4-6 ホストファミリーとの自由行動。
- 3/7 マレーシア国民大学、マラヤ大学訪問。
- 3/8 ジョホールバルへバスで移動。
- 3/9 ホストファミリーとの自由行動。
- 3/10 貸し切り車でシンガポールへ移動し、シンガポール国立大学を訪問。
- 3/11-12 ホストファミリーとの自由行動。
- 3/13 アスピラレイクホームズ団地にて、日本語・日本文化を教える。

3/14 アスピラレイクホームズ団地にて、日本語・日本文化を教える。帰国前の PCR 検査を受ける。

3/15 ジョホールバルからクアラルンプール国際空港を経由して帰国。

3. 授業のレビュー（成果や課題、今後の展望など）

教室での学習では得られない、多くのマレーシア人との交流の機会が設けられ、学生たちにとってよい経験となった。また、現在のマレー語力や問題点を実際の言語使用に基づいて自ら把握することができ、今後の学習意欲の向上につながった。約 3 週間の現地滞在の結果、マレー語力が向上したという感想が得られた。

今回はこれまでのスタディーツアーに比べ、ホストファミリーと過ごす時間が多くなった。そのため、すべての学生と一緒に同一の活動に参加するというより、個別の学生・ホストファミリーがそれぞれの能力・関心に合わせて別々の活動を行うこととなった。これにより、学生たちに精神的余裕が生まれ、よりリラックスした形での現地経験が可能になった。また、学生たちは現地の人々の日常の暮らしをより深く知ることもできたはずである。

上述のようなこともあり、今回は全員が協力的に参加し、非常に円滑にスタディーツアーを実施することができた。





